

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-174989

(P2003-174989A)

(43) 公開日 平成15年6月24日 (2003.6.24)

(51) Int.Cl.⁷

識別記号

F I

キーワード(参考)

A 4 7 L 13/17

A 4 7 L 13/17

A 3 B 0 7 4

A 6 1 L 2/18

A 6 1 L 2/18

4 C 0 5 8

審査請求 未請求 請求項の数4 O L (全 12 頁)

(21) 出願番号 特願2001-376452(P2001-376452)

(71) 出願人 000008769

ライオン株式会社

東京都墨田区本所1丁目3番7号

(22) 出願日 平成13年12月10日 (2001.12.10)

(72) 発明者 市川 真

東京都墨田区本所一丁目3番7号 ライオン株式会社内

(72) 発明者 藤原 正美

東京都墨田区本所一丁目3番7号 ライオン株式会社内

(74) 代理人 100112335

弁理士 藤本 英介 (外2名)

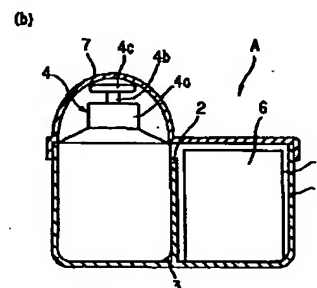
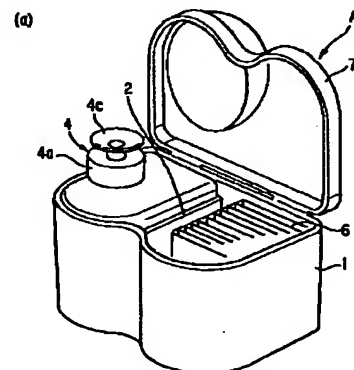
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 清掃用品

(57) 【要約】

【課題】 リビング汚れ、トイレ汚れ、油汚れなどの各種汚れに対して、効率よく清掃することができると共に、使用性に優れた清掃用品を提供する。

【解決手段】 洗浄液を注出する機構を有する洗浄液入り容器4と、上記洗浄液を含浸するシート体6、6……を収容したシート体入り容器とを一体的に成形してなることを特徴とする清掃用品A。洗浄液入り容器は洗浄液を上向きに注出する機構を有することが好ましい。また、シート体入り容器に収容されるシート体は、リビング汚れ用であれば極細繊維を含む不織布からなるシート体、キッチン汚れ用であれば疎水性繊維及び親水性繊維を含むシート体、トイレ汚れ用であれば水解性又は水溶性のシート体を用いることが好ましい。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 洗浄液を注出する機構を有する洗浄液入り容器と、上記洗浄液を含浸するシート体を収容したシート体入り容器とを一体的に成形してなることを特徴とする清掃用品。

【請求項2】 洗浄液入り容器が洗浄液を上向きに注出する機構を有する請求項1記載の清掃用品。

【請求項3】 シート体入り容器に収容されるシート体が極細繊維を含む不織布からなるシート体、疎水性繊維及び親水性繊維を含むシート体、水解性又は水溶性のシート体の何れか一つである請求項1又は2記載の清掃用品。

【請求項4】 清掃用品がリビング用、キッチン用、トイレ用である請求項1～3の何れか一つに記載の清掃用品。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、リビング汚れ、トイレ汚れ、キッチン汚れ等の各種汚れ用に好適に用いることができる使用性に優れた清掃用品に関する。

【0002】

【従来の技術】従来より、リビング汚れ、トイレ汚れ、キッチン汚れなどに対して、各配合組成の洗浄液をシート体中含浸してなるウェットタイプの清掃用シートは数多くのものが知られている。

【0003】しかしながら、これらの清掃用シートでは、予め一定量の洗浄液が含浸されているものであるで、洗浄液の液量の調節ができず、頑固な各種汚れ等に対して適切な洗浄液の液量を使用することができないという課題がある。また、これらの清掃用シートは、包装構造が充分でなく、保管中にシート体中含浸された洗浄液が蒸発し、乾いてしまうことがあり、使用性に課題を有するものである。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、上記従来技術の課題等に鑑み、これを解消しようとするものであり、リビング汚れ、トイレ汚れ、キッチン汚れ等の各種汚れに対して、効率よく清掃することができると共に、使用性に優れた清掃用品を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明者らは、上記従来の課題等について鋭意検討を重ねた結果、リビング汚れ、トイレ汚れ、キッチン汚れ等の各洗浄液を注出する機構を有する洗浄液入り容器と、上記洗浄液を含浸するシート体を収容したシート体入り容器とを一体化することにより、上記目的の清掃用品が得られることを見い出

し、本発明を完成するに至ったのである。すなわち、本発明は、次の(1)～(4)に存する。

(1) 洗浄液を注出する機構を有する洗浄液入り容器と、上記洗浄液を含浸するシート体を収容したシート体入り容器とを一体的に成形してなることを特徴とする清掃用品。

(2) 洗浄液入り容器が洗浄液を上向きに注出する機構を有する上記(1)記載の清掃用品。

(3) シート体入り容器に収容されるシート体が極細繊維を含む不織布からなるシート体、疎水性繊維及び親水性繊維を含むシート体、水解性又は水溶性のシート体の何れか一つである上記(1)又は(2)記載の清掃用品。

(4) 清掃用品がリビング用、キッチン用、トイレ用である上記(1)～(3)の何れか一つに記載の清掃用品。

【0006】

【発明の実施の形態】以下に、本発明の実施の形態を詳しく説明する。本発明の清掃用品は、洗浄液を注出する機構を有する洗浄液入り容器と、上記洗浄液を含浸するシート体を収容したシート体入り容器とを一体的に成形してなることを特徴とするものである。

【0007】本発明における洗浄液入り容器としては、リビング汚れ、トイレ汚れ、キッチン汚れなどの各種汚れに対して、各配合組成となる洗浄液を収容し、該洗浄液を注出する機構を有するものであれば、その容器構造、注出機構は特に限定されるものではない。好ましくは、操作性、使用性に優れた洗浄液を上向きに注出する機構を有する洗浄液入り容器が望ましい。この洗浄液を上向きに注出する機構を有する容器としては、例えば、シリンダー部材とピストン部材とを備えたポンプ装置を取り付け部材を介して容器口部に取り付け、ポンプ装置の注出筒に液受け皿を備え、この液受け皿を押圧することにより、一定量の内溶液（洗浄液）がポンプ装置により液受け皿に上向きに注出し、押圧操作を何回か繰り返すことにより所要量の内溶液（洗浄液）が液受け皿に溜まるものとなる構成のものが挙げられる。

【0008】本発明に用いる洗浄液としては、リビング汚れ、トイレ汚れ、キッチン汚れなどの各種汚れにに応じて、好適な配合組成となる洗浄液が選択されるものとなる。例えば、リビング用の洗浄液としては、pHが6～8で、少なくとも界面活性剤、キレート剤及び水（精製水、イオン交換水、純水、海洋深層水等、以下同様）を含有すると共に、必要に応じて香料、溶剤、アルカリ剤、消臭剤、高分子化合物を含有した洗浄液が挙げられる。具体的なリビング用の洗浄液としては、下記表1に示される組成1～4が挙げられる。

【表1】

(リビング用洗浄液組成)

[全量100質量%]

	組成1	組成2	組成3	組成4
ポリカルボキシメチル、β-グルコサリド酸ヘタイン	0.3			
ポリカルボキシメチル、β-グルコサリド酸ヘタイン		0.2	0.1	
ポリカルボキシメチル、β-グルコサリド酸ヘタイン		0.05		
ポリカルボキシメチル				0.3
POE(P-5)アルキルエーテル硫酸ナトリウム			0.2	0.2
塩化ステアリルトリメチルアンモニウム				
塩化ヘキサデシルトリメチルアンモニウム		0.1		0.01
脂肪酸ナトリウム	0.03	0.01		
モノエタノールアミン			1	1
エタノール	5	5	5	5
アロキゲン				1
クエン酸塩	1	1		1
EDTAナトリウム四水塩(EDTA)			0.005	
防腐剤	0.05			
香料	0.01	0.01	0.01	0.01
pH調整剤 (NaOH, KOH or H2SO4)	適量	適量	適量	適量
精製水	残部	残部	残部	残部
洗浄液のpH	8.5	7.0	8.0	8.0

【0009】キッチン汚れ用の洗浄液としては、pHが7以上、好ましくは、7～11で、少なくとも界面活性剤、キレート剤及び水を含有すると共に、必要に応じて香料、溶剤、アルカリ剤、消臭剤、高分子化合物を含有*
(キッチン用洗浄液組成)

*した洗浄液が挙げられる。具体的な油污れ用の洗浄液としては、下記表2に示される組成5～7が挙げられる。
【表2】

[全量100質量%]

	組成5	組成6	組成7
脂肪酸ナトリウム	1		
ポリカルボキシメチル	0.5	1	1
脂肪酸ナトリウム			1
ポリカルボキシメチル		5	6
モノエタノールアミン	6		
モノエタノールアミン	1	2	3
モノエタノールアミン	1		
脂肪酸ナトリウム			0.03
脂肪酸ナトリウム	0.1		
EDTA-Na	0.2		
pH調整剤 (NaOH, KOH or H2SO4)	適量	適量	適量
精製水	残部	残部	残部
洗浄液のpH	8.0	9.5	11.0

【0010】トイレ用の洗浄液としては、pHが6～8で、少なくとも界面活性剤、キレート剤及び水を含有し、必要に応じて香料、溶剤、アルカリ剤、消臭剤、高分子化合物を含有した洗浄液が挙げられる。具体的なト※

※イレ用の洗浄液としては、下記表3に示される組成8～10が挙げられる。
【表3】

5
(トイレ用洗浄液組成)
[全量100質量%]

	組成8	組成9	組成10
C14αオレフィン系脂肪酸ナトリウム塩			
C8~18脂肪酸ナトリウム塩	1		0.5
アルキルアミン系界面活性剤		0.5	
アルキルアミン系界面活性剤			
アルキルアミン系界面活性剤		2	
アルキルアミン系界面活性剤		0.5	
石鹼			
塩化ナトリウム	0.1		
塩化カルシウム	0.1		
グリコール酸			
ジエチルグリコールモノエーテル			
エタノール	6	4	30
界面活性剤			
合成界面活性剤	0.1		
安息香酸ナトリウム			
クエン酸ナトリウム	0.1	1	
酢酸ナトリウム四水塩		2.5	
メチルアルコール			
水酸化ナトリウム			
次亜塩素酸塩			
香料	0.3	0.3	0.5
pH調整剤 (NaOH, KOH or H2SO4)	適量	適量	適量
精製水	平衡	平衡	平衡
洗浄液のpH	8.0	7.2	8.0

【0011】本発明において、上記洗浄液を含浸するシート体としては、リビング汚れ、トイレ汚れ、キッチン汚れなどの各種汚れに応じて、好適な構成となるシート体を選択されるものとなる。例えば、リビング用のシート体としては、擦掃力（洗浄力）が高い極細繊維を含む不織布からなるものが挙げられ、不織布がアクリル、ポリエステル、ポリプロピレン、ナイロン、ポリエチレンの分割された1デニール以下の繊維とレーヨン、パルプのうち少なくとも1種以上とを含有してなるものが挙げられる。具体的なリビング用のシート体としては、下記表4に示される組成a~cが挙げられる。

【表4】

(リビング用シート体組成)
[全量100質量%]

	組成a	組成b	組成c
レーヨン	50	30	10
ポリエステル		60	
ポリエステル (1デニール以下)	25		
ポリエステル (0.9デニール)	25		
ポリエステル (0.9デニール以下)		10	
アクリル (0.1デニール)			80
製法	スプレー	スプレー	スプレー

【0012】キッチン汚れ用のシート体としては、油分を吸着せしめる疎水性繊維と洗浄液を含浸する親水性繊維を含む不織布からなるものが挙げられ、上記不織布の疎水性繊維がアクリル、ポリエステル、ポリプロピレン、ナイロン、ポリエチレンのうち少なくとも1種以上を含み、繊維径が10~70デニールであり、親水性繊維がレーヨン、パルプのうち少なくとも1種以上とを含有してなるものが挙げられる。具体的な油污れ用のシート体としては、下記表5に示される組成d~fが挙げられる。

【表5】

20*

(キッチン用シート体組成)
[全量100質量%]

	組成d	組成e	組成f
レーヨン	10	30	20
ポリエステル (3.0デニール)	80		
ポリエステル (2.0デニール)		70	
ポリエステル (10デニール)			80
製法	スプレー	スプレー	スプレー

30

【0013】トイレ用のシート体としては、清掃後に水洗トイレに流すことができるように、水解性又は水溶性のシート体からなるものが挙げられ、上記シート体にはパルプと強度向上成分となる水溶性バインダー又はレーヨンを含有するものが挙げられる。具体的なトイレ用のシート体としては、下記表6に示される組成g~iが挙げられる。

【表6】

(トイレ用シート体組成)
[全量100質量%]

	組成g	組成h	組成i
レーヨン			30
パルプ	95	90	70
水溶性バインダー (酢酸系)	5	10	
水溶性バインダー (PVA系)		10	
製法	湿式抄紙	湿式抄紙	スプレー

40

【0014】これらのシート体は、リビング汚れ、トイレ汚れ、キッチン汚れなどの各種汚れに応じて、好適な構成となるシート体用容器に収容される。また、シート体の収容態様としては、1枚1枚シート体を容器に収容する態様、ミシン目により簡単に分割できるように構成した連鎖状のシート体を容器に収容する態様などが挙げられる。

【0015】本発明の清掃用品は、上述の各用途に応じた洗浄液を注出する機構を有する洗浄液入り容器と、該洗浄液を含浸するシート体を収容したシート体入り容器とを一体的に成形してなるものであり、例えば、図1~

*

50

図10に示される各実施形態の構成のものが挙げられる。以下に、図面に沿って各実施形態を説明する。なお、各実施形態の容器に収容される洗浄液は、上述の如く、各用途に応じた配合組成となる洗浄液、例えば、表1のリビング用洗浄液（各組成1〜4）、表2のキッチン用洗浄液（各組成5〜7）、表3のトイレ用洗浄液（各組成8〜10）が収容されるものであり、また、シート体も各用途に応じた構成となるシート体、例えば、表4のリビング用シート体（各組成a〜c）、表2のキッチン用シート体（各組成d〜f）、表3のトイレ用シート体（各組成g〜i）が用いられるものである。

【0016】図1（a）及び（b）は、本発明の第1実施形態を示す清掃用品である。本実施形態の清掃用品Aは、図1（a）及び（b）に示すように、容器本体1を有し、該容器本体1内の中央部に立設された隔壁体2により2つに分割され、一方の分割収納部3には洗浄液を注出する機構を有する洗浄液入り容器4（内容量150ml）が収納され、他方の分割収納部5には上記洗浄液を含浸するためのシート体〔200(w)×200(d)×6つ折り、ポケットティッシュのサイズ、以下同様〕6、6……が一枚一枚収容されてシート体入り容器を構成するものとなっている。また、容器本体1の上部側縁には、施蓋自在となる蓋体7が一体的に設けられて、洗浄液入り容器4及びシート体入り容器5が施蓋される構成となるものである。洗浄液入り容器4には、シリンダー部材とピストン部材とを備えたポンプ装置（図示せず）が取り付け部材4aを介して容器口部（図示せず）に取り付けられ、ポンプ装置の注出筒4bには液受け皿4cが取り付けられている。この液受け皿4cを押圧することにより、一定量の内溶液（洗浄液）がポンプ装置により液受け皿4cに上向きに注出するものとなっている。使用に際しては、蓋体7を開蓋し〔図1（a）参照〕、手にシート体6をとり、このシート体6をもって液受け皿4cを押圧操作することにより、所要量の内溶液（洗浄液）が液受け皿4cに上向きに注出して、シート体6に含浸せしめて、各種汚れ等の所要箇所等を清掃するものとなる。容器4に収容される洗浄液は、上述の如く、各用途に応じた配合組成となる洗浄液が収容されるものであり、また、シート体6も各用途に応じた構成となるシート体が収容されるものである。

【0017】このように構成される本第1実施形態の清掃用品Aでは、リビング汚れ、トイレ汚れ、キッチン汚れなどに対して、好適な配合組成となる洗浄液をシート体6に適切な量を清掃者自身で調整しながら含浸せしめて清掃するものとなるので、簡単かつ容易にリビング汚れ、トイレ汚れ、キッチン汚れを洗浄することができるものとなる。また、本実施形態の清掃用品Aでは、容器本体1内に洗浄液入り容器4と、シート体入り容器5とがセットで収納されたものであるため、持ち運びに便利となり、使用性に優れたものとなる。

【0018】図2（a）及び（b）は、本発明の第2実施形態を示す清掃用品である。なお、第2実施形態以降は上記第1実施形態等と相違する部分のみを説明し、上記第1実施形態等と同様の構成は同じ図示符号を用いてその説明を省略する。本第2実施形態の清掃用品Bは、図2（a）及び（b）に示すように、洗浄液入り容器4の上部には、液受け皿4cを開閉自在とする蓋体4dが一体的に設けられている。シート体6a、6a……は、蓋体7により開閉自在となる箱型の容器8に収容される構成となっている。また、このシート体入り容器8には、洗浄液入り容器4の上部周面部を保持して一体化する洗浄液入り容器保持枠部8aが一体的に設けられている。このように構成される本第2実施形態の清掃用品Bでは、リビング汚れ、トイレ汚れ、キッチン汚れ等に対して、好適な配合組成となる洗浄液を含浸するシート体6aに適切な量を清掃者自身で調整しながら含浸せしめて清掃するものとなるので、簡単かつ容易にリビング汚れ、トイレ汚れ、キッチン汚れを好適に洗浄することができるものとなる。また、本実施形態の清掃用品Bでは、洗浄液入り容器4とシート体入り容器8とは容器保持枠部8aにより一体化される構成となるので、持ち運びに便利となり、使用性に優れたものとなる。

【0019】図3（a）及び（b）は、本発明の第3実施形態を示す清掃用品である。本第3実施形態の清掃用品Cは、図3（a）及び（b）に示すように、洗浄液入り容器4の底部部分を固着するための底部受部9aと、該底部受部9aの下段にはシート体6b、6b……を収容する上面開口の容器7aを引き出し自在とするための収納部9bとを有する容器棚体9を備えて、洗浄液入り容器4とシート体入り容器7aとを一体化している。このように構成される本第3実施形態の清掃用品Cでは、リビング汚れ、トイレ汚れ、キッチン汚れに対して、好適な配合組成となる洗浄液をシート体6bに適切な量を清掃者自身で調整しながら含浸せしめて清掃するものとなるので、簡単かつ容易にリビング汚れ、トイレ汚れ、キッチン汚れを好適に洗浄することができる。また、本実施形態の清掃用品Cでは、洗浄液入り容器4とシート体入り容器7aとは容器棚体9により一体化される構成となるので、持ち運びに便利となり、使用性に優れたものとなる。

【0020】図4（a）及び（b）は、本発明の第4実施形態を示す清掃用品である。本第4実施形態の清掃用品Dは、図4（a）及び（b）に示すように、洗浄液入り容器4の上部外周部分には、シート体6c、6c……を収容する蓋体7aを備えた容器8の底部を嵌合するための嵌合用受部4eを備えて、洗浄液入り容器4とシート体入り容器8とを一体化している。このように構成される本第4実施形態の清掃用品Dでは、リビング汚れ、トイレ汚れ、キッチン汚れに対して各配合組成となる洗浄液をシート体6cに適切な量を清掃者自身で調整しな

から含浸せしめて洗浄を行うこととなるので、簡単かつ容易に洗浄することができるものとなっている。また、本実施形態の清掃用品Dでは、洗浄液入り容器4とシート体入り容器7aとは嵌合受部4eにより一体化される構成となるので、持ち運びに便利となり、使用性に優れたものとなる。

【0021】図5(a)及び(b)は、本発明の第5実施形態を示す清掃用品である。本第5実施形態の清掃用品Eは、図5(a)及び(b)に示すように、洗浄液入り容器4を収納する容器収納部10aと、該容器収納部10aに一体的に設けられ、洗浄液入り容器4の蓋体となり、かつ、シート体6dを収納する蓋体兼用収納部10bとを有する容器本体10を備えている。なお、シート体6d、6d……は、ミシン目11を有する収納袋12に収納され、中蓋13により施蓋されている。このように構成される本第5実施形態の清掃用品Eでは、リビング汚れ、トイレ汚れ、キッチン汚れに対して好適な配合組成となる洗浄液をシート体6に適切な量を清掃者自身で調整しながら含浸せしめて洗浄を行うこととなるので、簡単かつ容易に洗浄を行うことができるものとなる。また、本実施形態の清掃用品Eでは、洗浄液入り容器4とシート体入り容器とは容器本体10により一体化される構成となるので、持ち運びに便利となり、使用性に優れたものとなる。

【0022】図6(a)及び(b)は、本発明の第6実施形態を示す清掃用品である。本第6実施形態の清掃用品Fは、図6(a)及び(b)に示すように、シート体6を収納する容器本体15と、中蓋16と、容器本体15を施蓋自在とする蓋体17とを有する容器本体18を備えると共に、上記蓋体17の上面部には洗浄液入り容器4の側面部を固着する固着部19を備えている。このように構成される本第6実施形態の清掃用品Fでは、リビング汚れ、トイレ汚れ、キッチン汚れに対して、好適な配合組成となる洗浄液をシート体6に適切な量を清掃者自身で調整しながら含浸せしめて清掃するものとなるので、簡単かつ容易にリビング汚れ、トイレ汚れ、キッチン汚れを洗浄することができるものとなる。また、本実施形態の清掃用品Fでは、洗浄液入り容器4とシート体入り容器とは容器本体18により一体化される構成となるので、持ち運びに便利となり、使用性に優れたものとなる。

【0023】図7(a)及び(b)は、本発明の第7実施形態を示す清掃用品である。本第7実施形態の清掃用品Gは、図7(a)及び(b)に示すように、洗浄液入り容器4を収納する容器収納部20と、該容器収納部20に一体的に設けられ、洗浄液入り容器4の蓋体となり、かつ、シート体6を収納する蓋体兼用収納部21とを有する容器本体22を備えている。なお、シート体6、6……は、収納袋21に収納され、シート体6a、6a……を保持する中蓋保持体23により保持されてい

る。このように構成される本第7実施形態の清掃用品Gでは、リビング汚れ、トイレ汚れ、キッチン汚れに対して、好適な配合組成となる洗浄液を含浸するシート体6aに適切な量を清掃者自身で調整しながら含浸せしめて清掃するものとなるので、簡単かつ容易に洗浄することができるものとなる。また、本実施形態の清掃用品Gでは、洗浄液入り容器4とシート体入り容器とは容器本体22により一体化される構成となるので、持ち運びに便利となり、使用性に優れたものとなる。

【0024】図8(a)及び(b)は、本発明の第8実施形態を示す清掃用品である。本第8実施形態の清掃用品Hには、図8(a)及び(b)に示すように、シート体6を収納する上面開口部25aを有する容器本体25と、容器本体25の側面部には洗浄液入り容器4の側面部を固着する固着部26とを有する容器本体27を備えている。なお、シート体66、66……は、ミシン目27を有する収納袋28に収納されている。また、29は蓋体である。このように構成される本第8実施形態の清掃用品Hでは、リビング汚れ、トイレ汚れ、キッチン汚れに対して、好適な配合組成となる洗浄液をシート体6bに適切な量を清掃者自身で調整しながら含浸せしめて清掃するものとなるので、簡単かつ容易に洗浄することができるものとなっている。また、本実施形態の清掃用品Hでは、洗浄液入り容器4とシート体入り容器とは容器本体27により一体化される構成となるので、持ち運びに便利となり、使用性に優れたものとなる。

【0025】図9(a)及び(b)は、本発明の第9実施形態を示す清掃用品である。本第9実施形態の清掃用品Iには、図9(a)及び(b)に示すように、洗浄液入り容器4を収納する上段棚部30と、該上段棚部30の下段にはシート体6、6……を収容するミシン目31aより上面を開口する構造の容器31を収納する下段棚部32とを有する容器棚体33とを備えて、洗浄液入り容器4とシート体入り容器31とを一体化している。このように構成される本第4実施形態の清掃用品Dでは、リビング汚れ、トイレ汚れ、キッチン汚れに対して、好適な配合組成となる洗浄液をシート体6に適切な量を清掃者自身で調整しながら含浸せしめて洗浄を行うこととなるので、簡単かつ容易に洗浄することができるものとなっている。また、本実施形態の清掃用品Iでは、洗浄液入り容器4とシート体入り容器31とは容器棚体33により一体化される構成となるので、持ち運びに便利となり、使用性に優れたものとなる。

【0026】図10(a)及び(b)は、本発明の第10実施形態を示す清掃用品である。本第10実施形態の清掃用品Jは、図10(a)及び(b)に示すように、容器本体35を有し、該容器本体35内の中央部に立設された区画体36により2つに分割される一方の分割区画部37に洗浄液入り容器4の底部を収納し、他方の分割区画部38は、シート体6d、6d……を収納する蓋

付きシート体入り容器39の底部を収納している。なお、容器39は、上部部分をミシン目39aにより開封し、開封後は上部部分は蓋体として構成されるものとなっている。このように構成される本第10実施形態の清掃用品Jでは、リビング汚れ、トイレ汚れ、キッチン汚れに対して、好適な配合組成となる洗浄液をシート体6に適切な量を清掃者自身で調整しながら含浸せしめて洗浄を行うこととなるので、簡単かつ容易に洗浄を行うことができるものとなる。また、本実施形態の清掃用品Jでは、洗浄液入り容器4とシート体入り容器39とは容器本体35より一体化される構成となるので、持ち運びに便利となり、使用性に優れたものとなる。

【0027】本発明の清掃用品は、上述の如く構成されるものであり、上述の各用途に応じた洗浄液を注出する機構を有する洗浄液入り容器と、該洗浄液を含浸するシート体を収容したシート体入り容器とを一体的に成形してなるものであれば、上記実施形態に限定されるものではなく、洗浄液入り容器と、該洗浄液を含浸するシート体を収容したシート体入り容器とを接合、接着、フィルムなどの固着機構又は着脱機構により一体的な容器とするものであってもよい。また、本発明では、洗浄液入り容器として洗浄液を上向きに注出する機構を有する構造のものをいれば、片手でシート体容器からシート体を取り出せ、かつ、片手で洗浄液をシート体に含浸せしめることができるので、リビング汚れ、トイレ汚れ、油汚れなどの各種汚れに対して、効率よく清掃することができると共に、使用性に優れたものである。更に、上記実施形態では、洗浄液及びシート体をリビング汚れ用、トイレ汚れ用、キッチン汚れ用を詳述したが、マニキュア落としや化粧落とし用、または、傷口などの洗浄消毒用などであってもよいものである。

【0028】特に、洗浄液入り容器としてリビング用洗浄液を上向きに注出する機構を有する構造のものとし、シート体入り容器に収容されるシート体を極細繊維を含む不織布からなるシート体から構成すれば、リビング汚れに対して、効率よく清掃することができると共に、使用性、洗浄性に優れたものとなる。また、洗浄液入り容器として油汚れ用洗浄液を上向きに注出する機構を有する構造のものとし、シート体入り容器に収容されるシート体を疎水性繊維及び親水性繊維を含むシート体から構成すれば、台所第の油汚れに対して、効率よく清掃することができると共に、使用性、洗浄性に優れたものとなる。更に、洗浄液入り容器としてトイレ用洗浄液を上向

きに注出する機構を有する構造のものとし、シート体入り容器に収容されるシート体を水解性又は水溶性のシート体から構成すれば、便器第のトイレ汚れに対して、効率よく清掃することができると共に、洗浄後水洗トイレに流すことができ、使用性、洗浄性に優れたものとなる。

【0029】

【発明の効果】本発明によれば、リビング汚れ、トイレ汚れ、油汚れなどの各種汚れに対して、効率よく清掃することができると共に、使用性に優れた清掃用品が提供される。

【図面の簡単な説明】

【図1】(a)は本発明の第1実施形態を示す斜視図であり、(b)は、その横断面図である。

【図2】(a)は本発明の第2実施形態を示す斜視図であり、(b)は、その横断面図である。

【図3】(a)は本発明の第3実施形態を示す斜視図であり、(b)は、その横断面図である。

【図4】(a)は本発明の第4実施形態を示す斜視図であり、(b)は、その使用状態を示す部分断面図である。

【図5】(a)は本発明の第5実施形態を示す斜視図であり、(b)は、その使用状態を示す部分断面図である。

【図6】(a)は本発明の第6実施形態を示す斜視図であり、(b)は、その部分断面図であり、(c)は使用状態を示す上面図である。

【図7】(a)は本発明の第7実施形態を示す斜視図であり、(b)は、その使用状態を示す部分断面図である。

【図8】(a)は本発明の第8実施形態を示す斜視図であり、(b)は、その部分断面図であり、(c)は上面図である。

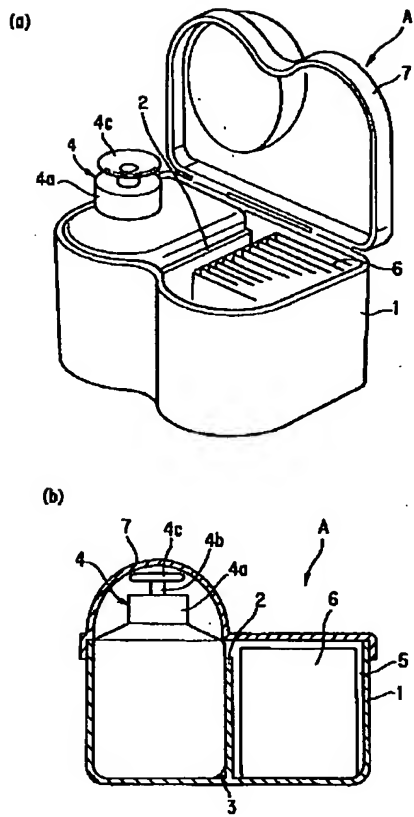
【図9】(a)は本発明の第9実施形態を示す斜視図であり、(b)は、その側面図である。

【図10】(a)は本発明の第10実施形態を示す斜視図であり、(b)は、その側面図である。

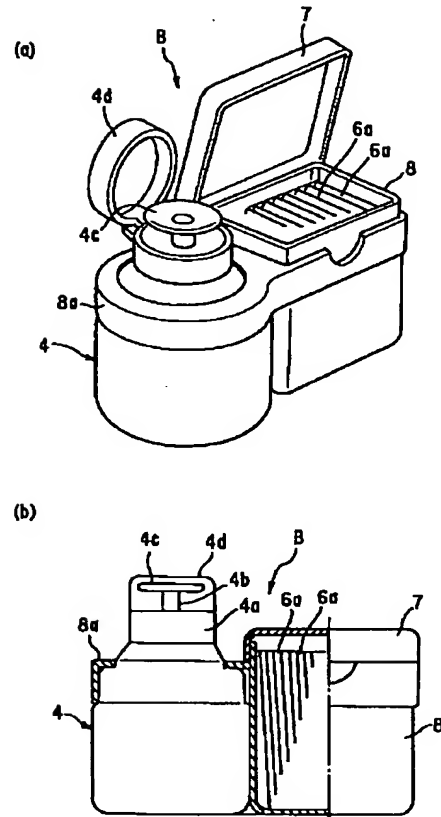
【符号の説明】

- A 清掃用品
- 4 洗浄液入り容器
- 6 シート体
- 7 蓋体

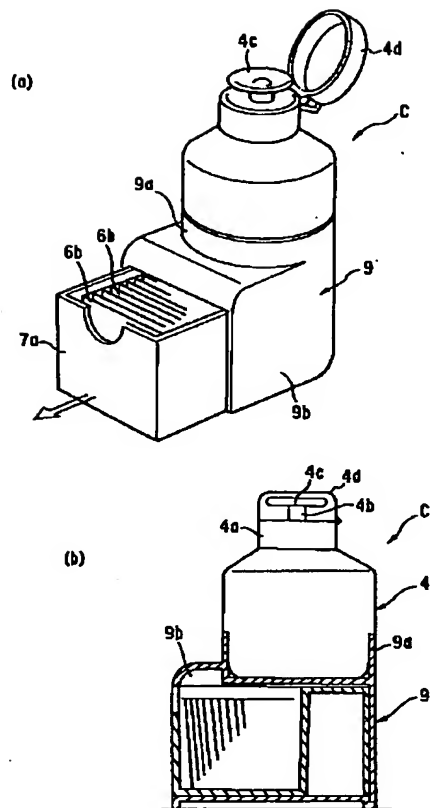
【図1】



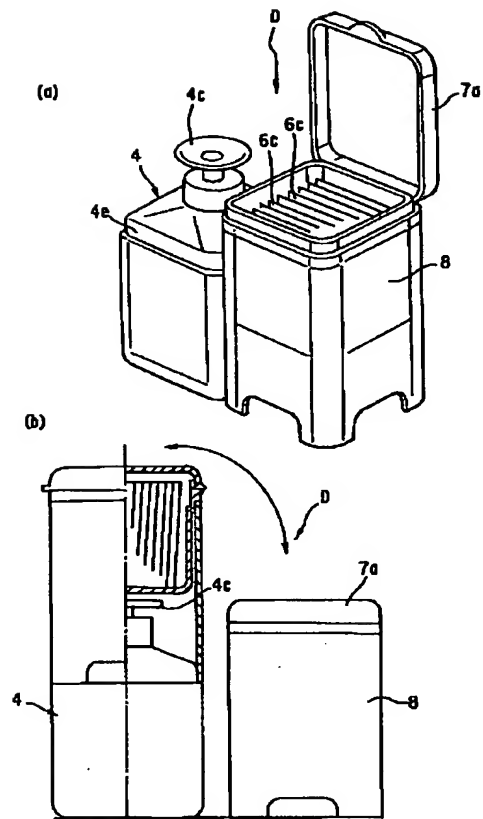
【図2】



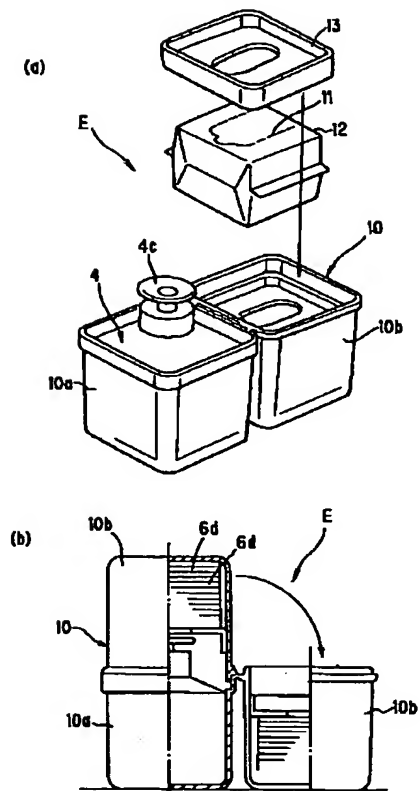
【図3】



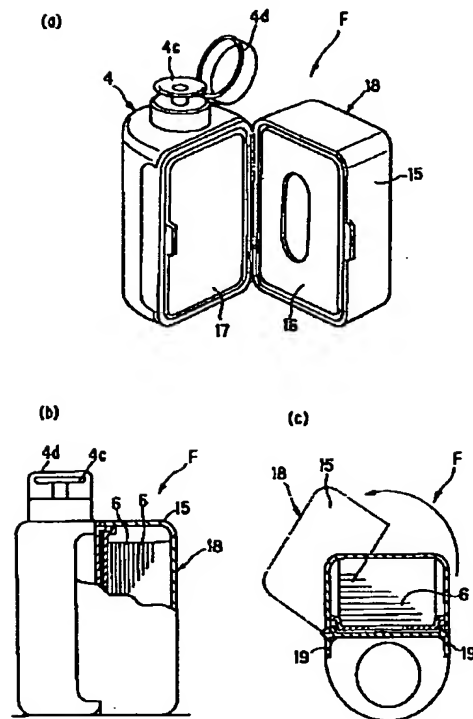
【図4】



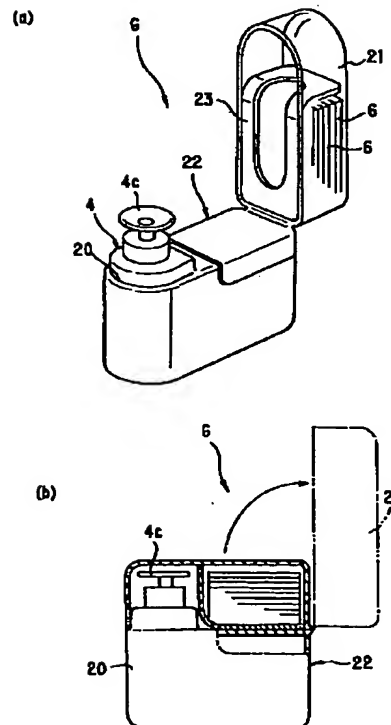
【図5】



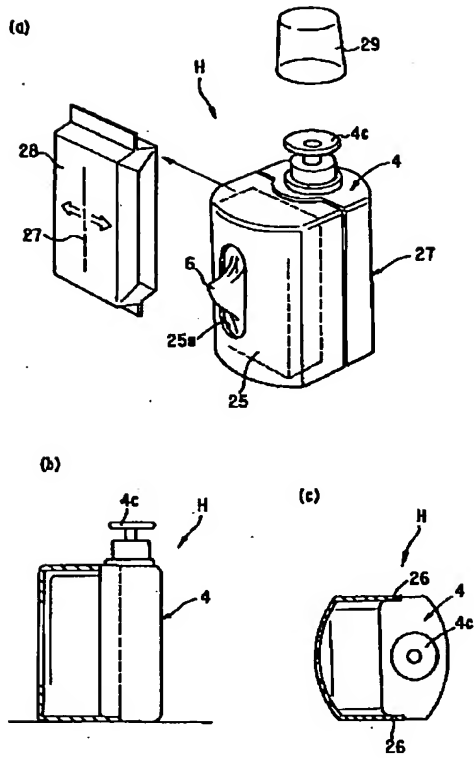
【図6】



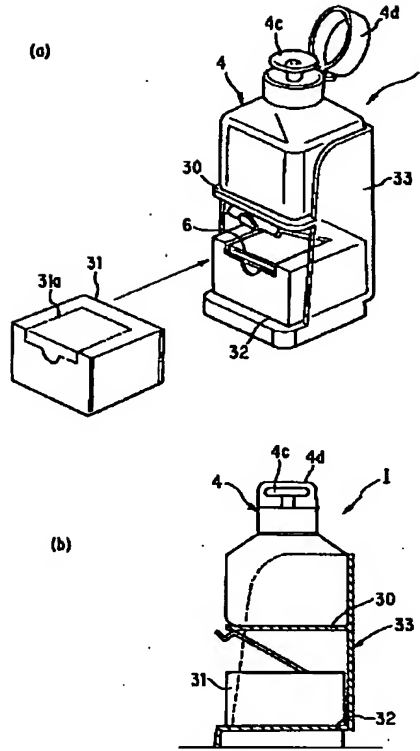
【図7】



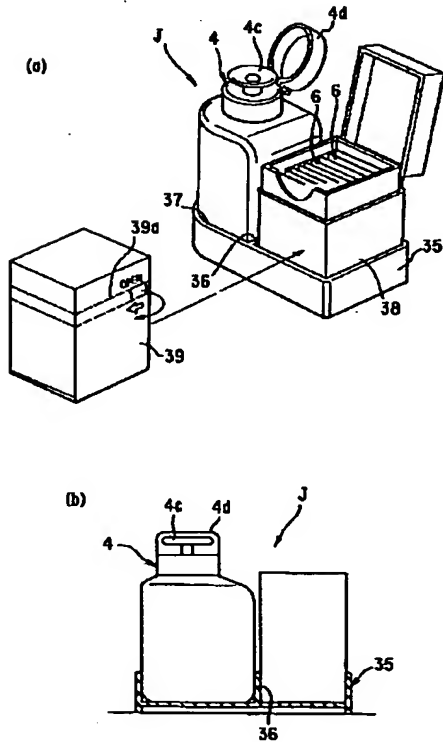
【図8】



【図9】



【図10】



フロントページの続き

(72)発明者 伊藤 弘雄
東京都墨田区本所一丁目3番7号 ライオン株式会社内

(72)発明者 小泉 茂
東京都墨田区本所一丁目3番7号 ライオン株式会社内

Fターム(参考) 3B074 AA01 AA02 AA08 AB01 AC02
CC03
4C058 AA28 BB07 CC02 CC08 EE12
EE14 JJ08 JJ23